

# 上海のCCRC

上海市には、崇明区という島々で構成される区があります。市内中心部から車で約1時間半、人口およそ70万人が生活する世界有数の野鳥飛来地として、自然保護区に指定されています。自然に恵まれたとても良い環境です。

先日、崇明区でCCRC (Continuin



g Care Retirement Community)を開発している企業から介護職教育などの依頼がありました。

同プロジェクトの総面積は11万5315㎡、建築面積8万2648㎡で、17棟(計555室)

の住宅で構成されています。施設にはレストランや老年大学、養生センター、病院もあります。

当初は欧米企業と開発を進めていましたが、思うように事業が進まなかったため、文化が似ているアジア、特に日系企業をパートナーとして探しているとのこと。

中国では「コミュニティ

## リゾート志向高まる

「II社区」が担う役割が大きく、社区サービスセンターは子供が家を出て老人夫婦だけになる、いわゆる「空巣家庭」を中心とした高齢者世帯を対象に、訪問介護を提供しています。

また、富裕層向けサービスを提供する民間施設も社区ごとに自立型有料老人ホームを建築し販売しています。その場合には各種様々なサービスや施設も社区単位で設置・運営されるため、社区の存在はかなり大きなものになります。

しかしながら、最近中国では、「不安定な社会保障に代わる別の選択肢として」、また「健康な状態から高齢者の生活の質を維持向上させたい」という観点で中国版CCRCへの注目が高まっています。環境が整ったリゾート的な養生生活を望んでいる高齢者が多くなっています。

### 中国の 高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～



**ゲストハウス総経理 稲田義人**

著者プロフィール  
 ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。